

# きせきぐり

議会だより  
No. 227



元気もんラボ

## 世代を超えて学び合い



令和8年3月議会号

意見交換会 (元気もんラボ) .....	2
3月定例会 .....	4
ここをどうする!?(6人が一般質問) .....	9

# 特集 意見交換会

## 出合いが つながる元気

### 第38回 元気もんラボ/ 「大学生とスマホで遊ぼう」

町では、健康づくりや介護予防を学びながらの多世代交流を目的に福岡工業大学と連携し「元気もんラボ」の取り組みを進めています。スマホの困りごと相談に対応する学生・大学の先生と活動の成果や課題について意見交換を行いました。

#### ●高齢者と関わって見た感想は？

##### ・早瀬理絵さん（学生）

最初は、考え方の違いなどもあるのかと思いましたが、実際、交流して、思ってるほどギャップは大きくなかったと感じています。

##### ・古賀尋翔さん（学生）

自分の高齢者像は、家にいる時間が長くて、あまり外に出ない印象が強かったんですけどイベントの参加者が多くて衝撃でした。

ノートや手帳に説明した方法を書いている方が多くて、積極的に話を聞いてくれるところがすごいと感じました。

##### ・李知炯先生（助教）

僕の立場では、学生たちが高齢

者とどう会話できるか、共通点を

どう見つけて卓球みたいに会話のやりとりができるか、そこが心配でした。

初めは会話がすぐ終わることもありましたが、回数を重ねると1時間ずっと話しています。学生の声かけで、だんだん雰囲気は柔らかくなっていくのを感じます。

#### ●スマホ教室の前後で感じた変化は？

##### ・早瀬さん

はじめは、お互い緊張していて固い雰囲気が始まるんですけど、操作の話から広がって、日常生活の話も共有できて、楽しい雰囲気になることが多かったです。

##### ・古賀さん

地図アプリの相談が多くて、説明していくと、帰り際に「今度地図アプリを使って店に行ってみようかな」って笑顔で帰られる方が多かったので、前後の変化は大きいなと思いました。

##### ・李先生

写真の思い出から話が広がって元気になる、スマホの話だけでなくお互い笑うこともある、そこがとても良かったです。

#### ●どんな質問が多い？

##### ・早瀬さん

写真を送ったり消したり、アプリのインストール方法など、基本的なことが多かったです。

##### ・古賀さん

LINEなどの通知の消し方、地図アプリの使い方が多かったです。



古賀 尋翔さん

#### ●介護予防や孤独防止にどうつながる？

##### ・早瀬さん

スマホ教室をきっかけに家から

出ることによって交流が生まれて、話せる人が増えます。「誰々さんがいるから行くこう」とか、ポジティブな気持ちにつながると思います。

#### ・古賀さん

地図アプリ相談が多いのは、外出したいからで、外出は歩く・調べることにもなります。認知症予防にもつながり、交流も生まれて孤独防止にもなると思います。

#### ・李先生

来てくれるのは元気な人、来れない人が一番危ないです。そこをどう引く張るかが課題ですね。

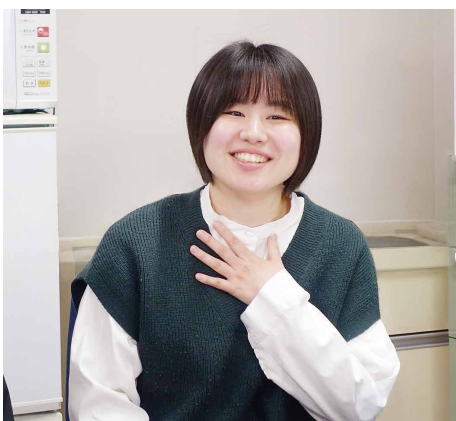
例えばアプリで健康チェックをして、反応がない人に役場から声かけができるなどの循環する仕組みがあれば、役場の負担が軽減されると思います。共同研究で開発したMCI（軽度認知障害）などを推定するアプリが活用できます。

#### ●活動を他の取り組みと連動する考えは？

#### ・李先生

高齢者は健康に関心があります。血管の硬さ測定をスマホ教室と一

緒に実施したところ、その結果をきっかけに病院を受診して大きな病気が分かった方がいました。こういう連動を広げたいですね。



早瀬 理絵さん

#### ●学生自身が変わったことは？

#### ・早瀬さん

活動前は人見知りで、初対面の人はどう思われるか気にしていました。交流を通してハードルが下がりました。「話したらちゃんと聞いてくれる」と分かって、「初対面」怖い」ではなく「新しいことを知る」に変わりました。就活の面接でも活きて、人見知りっぽくないと言われるようになりました。

#### ・古賀さん

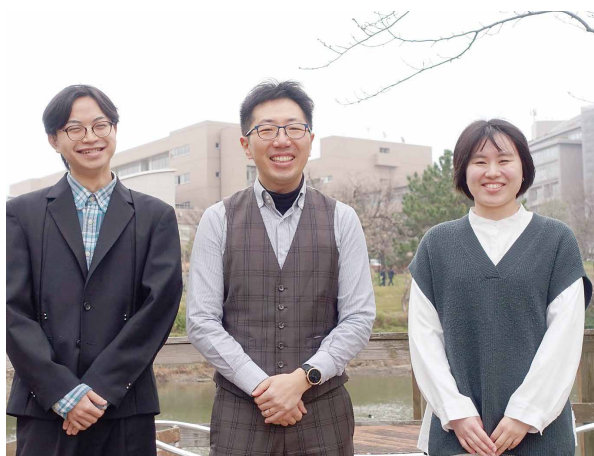
話すだけじゃなく、人の話をちゃんと聞く「傾聴力」が身につきました。相手の目線に立って説明する大切さを学びました。

#### ・李先生

知らないことをするのは怖いものですが、経験を重ねる中で、学生たちは次第に自分で考え、判断し、自ら一步を踏み出せるようになっていく、そこが教育だと思っています。「ここで教えることはない、関わって学んでね」と伝えていきます。



李 知炯 助教



元気もんラボのスマホ教室では、安心して「聞ける」「話せる」居場所の大切さを感じました。

大学の皆さんの関わりによって、高齢者の表情や行動が変わり、外に出るきっかけが生まれているので、来られない方への見守りや声かけの必要性も共有されました。

健康アプリの研究についても、小さな気づきが支援につながる可能性があります。

議会としても命と暮らしを守る視点を大切に、現場の声を町民の安心につなげていきます。

## 3月定例会

2月26日から3月12日までの15日間の会期で開催しました。総務建設・文教厚生常任委員会、予算特別委員会において、町長提案の議案22議案すべての議案を原案のとおり可決しました。各議案に対する賛否一覧を8ページに掲載しています。



## 令和8年度 予算

総額 **135億9794万円**  
**9億3388万円減**

## 篠栗町の予算を「家計簿」に例えてみました

町の令和8年の予算の歳入歳出を性質別に分け、仮に「年収500万円」の世帯として一般家庭の項目に置き換えてみました。目安としてご覧ください。

(1万円未満四捨五入)

※合計に合わせるため一部数字を調整しています。

町の歳入		
町財政の項目	金額	率 (%)
町 税	39億3890万円	29.0%
繰入金	15億340万円	11.1%
使用料手数料・分担金負担金・諸収入・財産収入・寄附金	9億3079万円	6.8%
繰越金	1億5000万円	1.1%
地方交付税・交付金・地方譲与税	31億3135万円	23.0%
国県支出金	37億2450万円	27.4%
町 債	2億1900万円	1.6%
合 計	135億9794万円	100.0%

家計簿の収入	
家計簿の項目	金額
給 料 (基本給)	145万円
貯金の引き出し	55万円
パート収入など	34万円
昨年の残金	6万円
父母などからの支援	115万円
医療費助成や奨学金など	137万円
借 金	8万円
合 計	500万円

町の歳出		
町財政の項目	金額	率 (%)
人件費	19億4826万円	14.3%
扶助費	40億6450万円	29.9%
公債費	7億8259万円	5.8%
物件費・補助費等	50億7090万円	37.3%
繰出金	11億8942万円	8.8%
投資・出資金・貸付金	1985万円	0.1%
積立金・予備費	4700万円	0.3%
普通建設事業費・維持補修費 災害復旧事業費	4億7542万円	3.5%
合 計	135億9794万円	100.0%

家計簿の支出	
家計簿の項目	金額
食 費	72万円
医療費・介護費	149万円
ローン返済	29万円
光熱水費・生活用品の購入・町内会費	186万円
子供への仕送り	44万円
知人への援助・貸付	1万円
貯 金	2万円
自宅の増改築・修繕・車の買替など	17万円
合 計	500万円

この家計簿で見てみると、自分の収入だけで全部をまかなうのは難しく、貯金の引き出しや支援も受けながら暮らしている形です。食費や医療・介護費、生活に必要なお金が多くを占め、家計にはあまり余裕がありません。その中で、暮らしに欠かせない支出を優先しながら、お金をやりくりして家計を成り立たせています。



## 特別会計

(百万円未満四捨五入)

会 計		R 7 年度予算	R 8 年度予算	対前年度増減
国 民 健 康 保 険		27億3800万円	26億6200万円	△7600万円
後 期 高 齢 者 医 療		5億6500万円	6億2800万円	6300万円
水 道 事 業	収益的支出	6億3000万円	6億3900万円	900万円
	資本的支出	3億1200万円	4億5600万円	1億4400万円
公共下水道事業	収益的支出	8億8200万円	8億8100万円	△100万円
	資本的支出	5億8600万円	5億7000万円	△1600万円

## 令和 8 年度の主な事業

(1万円未満四捨五入)

### 防災行政無線更新業務委託

6940万円

現行機器の製造終了予定と老朽化に対応するため、新しい方式に対応した機器へ更新します。

### 町民体育館ストックヤード増設工事

174万円

町民体育館の段ボール用ストックヤードが満杯になりやすいため、利便性を向上します。

### 篠栗小学校体育館改修工事設計業務委託料

1859万円



昭和55年3月に建てられた現在の体育館



### 反対討論

横山 議員

本予算には、乙犬区集会所建設のための補助金700万円が計上されている。

区の要請を受け、計上したとのことだが、乙犬区総会で可決されたものではなく、区の決定事項でも区の総意でもない。建設予定地にはお堂が建っているが、管理する方全員の同意を得ていない。町は、申請されたものに対して判断するので、町が確認することではないとのことだが、内容が適正か、問題ないか確認せずに補助を決定することは、行政としてあるまじき行為である。

補助金を出すプロセスを無視した予算計上であり、この項目を取り下げるべきである。

### 町の見解

区長の話では、作出地区の大師組合の19世帯のうち16世帯の方からは同意を得ているが、残りの3世帯については、これから同意を得るとのことだった。詳細は、乙犬区の総会等でご確認いただきたい。

町では集会所を作らないようにしているが、区が主体的に申請して、国・県の一定の補助が使えるような状況になれば、地域住民のために町が残りを負担していくべきと判断した。

当然、区が同意を得られて、その後国・県の補助があり、それを受けての町の対応ということになる。

乙犬区だけではなく、同様の地域があることは承知している。

※令和8年度は、国・県の補助金が不採択となったため、乙犬区集会所建設事業の実施はありません。

## 契約

## 契約金額を減額

## 工事変更契約の締結について

〔篠栗北地区産業団地事業用地2法面工事〕

(議案第14号)

工事金額を減額するにあたり変更契約を締結。減額の要因は、別工事との重複が解消されたことにより、交通誘導員の人数が520名から40名へ減少したため。

契約金額 金9124万6000円を

金8136万5900円に変更

契約の相手方 不二グラウト工業株式会社



## 条例

## こども誰でも通園制度開始

篠栗町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

(議案第5号)

保育所に通っていない生後6か月から満3歳未満の子どもが、保護者の就労要件を問わず、月10時間を上限に保育施設等に通園できる新たな制度。

令和8年4月1日から施行。

## 公共交通を見直し

篠栗町附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(議案第7号)

篠栗町地域公共交通会議・篠栗町運賃協議会を新たに設置することに伴い、条例を整備する。新設の目的は、町内の公共交通を見直し、新たな交通手段を検討する。令和10年10月の試験運用開始を目指す。



## 一般会計補正予算

(議案第2号)



一般会計の補正予算額は下記のとおり。

(1万円未満四捨五入)

会計	補正額	補正後予算額
一般会計	3億5533万円	162億4729万円

## 臨時会

(1月23日)

## ●主な事業

【こども育成課】	物価高対応子育て応援手当事業	1億2101万円
【産業観光課】	物価高騰対応地域振興券事業	2億3297万円

## 請 願

### 廃止撤回を求める 請願は不採択に



### 「篠栗町総合保健福祉センターにおけるトレーニングルーム及び温浴施設」の廃止撤回を求める請願書

(請願第2号)

本請願は、令和7年第4回定例会において継続審査となったもので、これまで議会として常任委員会を2回、全員協議会を1回開催してきた。また、議員活動の中でさまざまな情報や町民の声を確認したうえで臨時会を開き、採決の結果、不採択となった。

#### 【文教厚生常任委員会 意見内容】

- ・ 請願は住民の声の一つではあるが、新たな情報は出ていない。
- ・ また、町民の任意の方に廃止に至る経緯や根拠を説明すると理解いただける。
- ・ 広報やアンケート調査を実施するなどプロセスが明確ではなかった。住民や利用者の説明をして段階的に進めていけば、こんな大変な状況にはならなかった。
- ・ 施設の老朽化に伴い、安全性を確保するには、大規模改修は必須である。現施設では運営を引き受ける新たな委託事業者を確保するのは困難である。
- ・ 今後は、高齢者福祉や多世代との交流など、現在の福祉ニーズに合った機能に転換するのが望ましい。
- ・ 閉鎖後の在り方について、執行部の提案を受け協議を進めることが適当である。

#### ● 反対討論 ●

##### 栗須 議員

近年の利用状況や福祉ニーズの変化を踏まえると、従来通りの運営を続けることは、財政的に見ても限界である。

町民全体への必要性や公平性を考慮すると、公益性が低く維持継続するのは困難である。

施設の在り方を「子育て支援や多様化する高齢者福祉への対応」として機能強化されることを期待する。

##### 太郎良 議員

温浴施設は長年親しまれた施設であり、存続を願う気持ちは十分に理解している。また、廃止に至るまでの説明の在り方は課題である。

しかし、安全性や利用環境の維持には相応の改修が不可欠であり、指定管理者の確保も困難な状況である。限られた財源の中で持続可能な行財政運営を考えていくことが重要である。

##### 崎山 議員

廃止されることへの戸惑いや、納得がいかないことは十分に理解できる。

今、行政に求められているのは、限られた財源をより多くの町民のためにより効果的に活用することである。改修費用やランニングコストを含め総合的に勘案した結果が廃止という判断である。将来世代への責任を踏まえ、判断を行うべきである。

#### ● 賛成討論 ●

##### 横山 議員

今回の温浴施設廃止は、町民への周知を徹底せず、説明責任も果たしていない。また、災害等による建物崩壊など、廃止を急がねばならない緊急性もない。

本来どおり進めることに支障がない中、理解を得る説明もないまま強引に廃止を押し通すことは、健全な町づくりとは到底言えない。よって廃止撤回を強く求める。

##### 浦野 議員

廃止の理由は、老朽化による修繕費用の増大や利用者の減少等さまざまである。

一方で、住民への周知と十分な説明がないまま決定されたという、本来取るべき段取り、プロセスが抜け落ちており、町の姿勢が問われている。

一度白紙に戻して、丁寧な説明や住民に寄り添った議論が必要であると考ええる。

##### 門馬 議員

本町で25年続く温浴施設等の廃止決定について、進め方に重大な問題があった。

老朽化や財政課題は承知しているが、町民への十分な説明もなく廃止を決めたことは極めて不誠実である。

1,685名の署名は置き去りにされた町民の声である。いったん白紙に戻し、町民に正面から説明し、改めて判断すべきだと訴える。

	議案	議案名	議決結果	
1月臨時会	1	篠栗町職員旅費支給条例の全部を改正する条例の制定について	全員賛成原案可決	
	2	令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第9号）について	の 詳細はP6 どおり	全員賛成原案可決
	請願 2号	「篠栗町総合保健福祉センターにおけるトレーニングルーム及び温浴施設」の廃止撤回を求める請願書	の 詳細はP7 どおり	賛成少数不採択
3月定例会	3	専決処分の承認を求めることについて（専決第1号） 〔令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第10号）について〕		全員賛成原案承認
	4	篠栗町教育委員会委員の任命について		全員賛成同意
	5	篠栗町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	の 詳細はP6 どおり	全員賛成原案可決
	6	篠栗町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	7	篠栗町附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定について	の 詳細はP6 どおり	全員賛成原案可決
	8	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	9	篠栗町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	10	篠栗町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	11	篠栗町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	12	篠栗町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	13	篠栗町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の全部を改正する条例の制定について		全員賛成原案可決
	14	工事変更契約の締結について〔篠栗北地区産業団地事業用地2法面工事〕	の 詳細はP6 どおり	賛成多数原案可決 (可8:否3 横山・浦野・門馬)
	15	町道の路線変更について		全員賛成原案可決
	16	令和7年度篠栗町一般会計補正予算（第11号）について		全員賛成原案可決
	17	令和7年度篠栗町国民健康保険特別会計補正予算（第5号）について		全員賛成原案可決
	18	令和7年度篠栗町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）について		全員賛成原案可決
	19	令和7年度篠栗町水道事業会計補正予算（第3号）について		全員賛成原案可決
	20	令和8年度篠栗町一般会計予算について	の 詳細はP4 どおり	賛成多数原案可決 (可8:否3 横山・浦野・門馬)
	21	令和8年度篠栗町国民健康保険特別会計予算について		全員賛成原案可決
	22	令和8年度篠栗町後期高齢者医療特別会計について	の 詳細はP5 どおり	全員賛成原案可決
	23	令和8年度篠栗町水道事業会計予算について		全員賛成原案可決
	24	令和8年度篠栗町流域関連公共下水道事業会計予算について		全員賛成原案可決

# 6人が一般質問

## 6人が一般質問

- |                     |    |
|---------------------|----|
| 1. 荒牧 泰範 議員         | 10 |
| • 県道607号線の渋滞緩和を     |    |
| 2. 太郎良 瞳 議員         | 11 |
| • 高齢者の居場所の安定継続の仕組みは |    |
| 3. 横山 和輝 議員         | 12 |
| • 町有地の無断駐車に賃料を      |    |
| • 幼稚園跡地を更地にすべきではないか |    |
| 4. 吉本 文枝 議員         | 13 |
| • プレコンセプションケアの推進を   |    |
| 5. 門馬 良 議員          | 14 |
| • 学校給食廃食用油の有効活用を    |    |
| 6. 崎山 佐穂 議員         | 15 |
| • 町独自の人材バンクで人材確保を   |    |

一般質問とは、議員が執行部に、その町の行政全般の事務執行状況や政策方針などについて、報告や説明を求め、所信や疑問を尋ねることです。

年4回開催される定例会の中で行うもので、臨時会では行いません。

ここに掲載したのは要約で、質問者本人の原稿をもとに作成しています。議事録の全文は議会事務局・町立図書館・クリエイト篠栗・オアシス篠栗・各公民分館および町ホームページで閲覧できます。

# 県道607号線の渋滞緩和を

町長 「道路環境改善を求めていく」



録画配信



あらまき やすのり  
荒牧 泰範

問

門松交差点が立体交差になり福岡市方面への渋滞が随分と緩和されたが、篠栗駅前信号から町民体育館前信号までの混み具合は旧態依然としたままで、朝夕のラッシュ時のみならず昼間でも渋滞が頻繁に見られる。行政として改善しなくてはならない道路形態として考えられるものは、先ず駅前信号から次の手押し式信号までの距離が短すぎ且つ上下の信号と同期されていないこと、二つ目はミスターマックス角の交差点に右折待機場所がないこと、三つ目は

町民体育館前信号において右折車が2台以上になると渋滞するので右折待機場所の狭さであると思う。  
以上の3点は早急に改善すべきだが如何か。  
また、花水木方面からの県道

交差点は視界が悪く頻繁に事故が起こっているので改善が必要であり、勢門小学校バス停から乙犬バス停間は信号機がなく高齢者などがバス停を利用するのに非常に危険な状態であるので、信号機の必要箇所の見直しを警察と協議していただきたいが如何か。

答【町長】

粕屋警察署によると二つ目の押しボタン式信号は若杉入口信号機と連動は可能だが押しボタン式でなくなり横断者の待ち時間が長くなる。二つ目と三つ目の右折待機場所についてはさらに道路用地を確保する必要があ

り、県内主要幹線道路整備を優先しており、改良は容易でないとの事である。

道路管理者が県で交通管理者が警察であることから町が直接道路改良をできないが、交通の円滑化・安全確保の観点から改善を今後も求めていく。

信号機の設置は交通関係部署によると、事故が起こった所から設置しているようだが、起こる可能性がある所は設置を要望していきたい。

花水木方面からの頻繁に発生する事故や勢門小学校バス停から乙犬バス停までの横断の危険性など、車両・歩行者の交通量や事故発生状況を把握し、信号機の見直しや右折レーン設置の可能性・歩行者の安全対策と車両の渋滞対策などについて、県や警察に道路環境の改善を求めていく。

## 本会議傍聴・視聴のご案内

本会議は一般に公開されており、傍聴することができます。傍聴をご希望の方は、庁舎3階の議会事務局にお越しください。(予約不要)  
また、当日の様子は、インターネットでの生中継や録画配信でもご覧いただけます。

町政や議会の様子を身近に感じていただく機会をぜひご利用ください。



本会議も/  
ホームページで  
公開しています!



次回の6月議会の開会は、6月4日(木)10時、一般質問は6月10日(水)10時開始予定です。

# 高齢者の居場所の 安定継続の仕組みは

福祉課長 「多角的な支援策を講じる」



録画配信



たろうらひとみ  
太郎良瞳

高齢者の社会参加や交流の場となる居場所づくりは、健康づくりや孤立防止の面からも重要であり、篠栗町においても様々な取り組みが行われている。

問

参加しやすい環境を整える支援策は。

答【福祉課長】

高齢者に対して適切な支援ができる体制づくりは重要な課題と捉え、元気もんラボ、各地域でのサロン活動やおひさま活動への支援、また、シニアクラブ

やシルバー人材センターでは、生きがいを創出する取り組みもしている。

交通手段や運動能力の低下により、通いが難しい方には送迎可能な介護予防事業、集団が苦手な方には自宅でできる介護予防などを案内している。新しい人が行きたいと思える環境や知り合いからの誘い、家族からの勧めなどを支援し、通いやすいきっかけづくりを進めたい。

個々に応じた事業を行い、高齢者が地域で孤立せず安心して暮らせるよう、各行政区と連携し地域での理解と協力による支え合いに努めていく。

問

居場所を継続するための担い手の発掘・育成は。

答【福祉課長】

介護支援ボランティアポイント事業を平成21年から開始し、

現在、登録は108人、83人が活動している。ボランティアセンターの事務局である篠栗町社会福祉協議会と連携し、知識や技術を学ぶ講座やイベントを開催し、発掘と育成の支援に努めていく。

問

篠栗町社会福祉協議会では、毎年、生活支援の大切さについて住民講演会を開催し、研修の充実に努めている。

今後も、町と社会福祉協議会で連携し、地域全体で高齢者の生活を支える支援体制をつくっていく。

問

今後も安定して継続できる仕組みの構築は。

答【福祉課長】

高齢者の方が生き生きと生活できるよう、多角的な支援策を講じ、居場所づくりの必要性、重要性を認識し、地域全体で

サポートし合える環境整備を引き続き努力していく。

問

細やかな周知の考えは。

答【福祉課長】

広報の工夫やデジタルツールの活用、既存の利用者からの口コミや、公民館に掲示の検討など多様な誘いで周知を図りたい。



# 町有地の無断駐車に賃料を

都市整備課長 「区や内部の調整のもとに考えていきたい」



録画配信



よこやま かずき  
横山 和輝

問

約10数年間にわたり、旧乙犬公民館の跡地である町有地に隣接する民間の企業が無断で利用している。

過去に指摘したところ、町はロープを張り利用できないようにしたが、数か月経過したところ、外され再度利用されている。すぐにも利用できなくするべきではないか。

答【都市整備課長】

今年1月にまた駐車されていると情報があり現場を確認したところ、駐車している車が民間企業の従業員の車と判明した。速やかに移動するよう話をし、検討した結果、現在は仮設ガードレールを設置している。

今後、民間企業を訪問し、適正な町有地の維持管理に努めていく。

問

ガードレールに間があり結局今も駐車している。今の財政状況を考えると、少しでも歳入を増やすための努力が必要なので、賃料を取って利用させるべきではないか。

答【都市整備課長】

内部的な財産移管や乙犬区と調整のもとに考えていきたい。

## 幼稚園跡地を更地に

### すべきではないか

財産活用課長 「時期については協議していく」

問

2023年、町営であった北勢門幼稚園が閉園され、建物は放置したまま、約3年が経過している。

窓ガラスが割れ、放置した状態により景観を損ねることや、知らない人が勝手に住み着くかもしれないという不安の声も上がっているが。

答【財産活用課長】

令和7年5月に警備会社から報告を受け、窓ガラス2枚の破損を確認し、粕屋警察署に通報した。また、数日後、園内に複数の人が侵入しているとの連絡が入り、確認したところ、さらに8枚割られていた。当該施設は、異変があれば警

備会社が現場確認を行うようになっており、敷地も含め維持管理を行っている。引き続き適切な施設管理に努めていく。

問

全国的に見れば、放置されたところは放火などの事件が実際にある。問題が起これば町の責任になるため建物も古く再利用できないのであれば、早く更地にするべきではないか。

答【財産活用課長】

利用目的が定まるまで、更地とすることは考えてない。解体費用もかかるため、今後どのような形で解体時期を決めていくか、協議していきたいと思っている。

# プレコンセプションケアの推進を

## 健康課長「町は身近な相談と情報提供を担う」



よしもと ふみえ  
吉本 文枝

録画配信



政府は成育基本法の中で、学童期や思春期からの健康教育を推進し、生涯の健康づくりにつながる取り組みを掲げている。その中の<sup>※1</sup>プレコンセプションケアは、<sup>※2</sup>ウエルビーイングにつながる取り組みと考

問

県には<sup>※3</sup>プレコンセプションケアセンターが設置されているが、町民の健康と安心を支える課題をどう捉えているか。

答【健康課長】

児童期は性や生殖に関する正確な知識の普及、成人期は将来のライフプランを考えた生活や健康の見直し、特に若年女性のやせ対策に取り組むことについている。

単なる少子化対策や不妊予防ではなく、住民の心と身体の健康と幸福の基盤づくりという広い意味での健康増進の課題と捉えている。

問

町の役割は。

答【健康課長】

県の専門相談や情報発信を補完し、住民が健康不安を感じた際に、最初の手がかりとなるセーフティネットとしての機能、センターや医療機関へつなぐ機能、健康セミナーや企業・学校と連携した啓発、母子保健事業や特定健診の結果説明などを通じて、長期的な伴走支援等の役割を担うと考える。

問

学校教育や関係機関と連携し正しい知識を伝えていくことについての考えを伺う。

答【教育長】

学習指導要領に基づき、小学校では心と体の発育・発達に関する理解を深め、健康な生活を営む基礎を養うことを重視している。

問

学校に行けない児童生徒や幼児期への対応は。

答【教育長】

学習支援センターなど関係者や幼稚園、保育施設等への情報提供を行う。

※1 プレコンセプションケア

将来の妊娠や健康に備え、若い世代が体や生活を整える取り組み。

※2 ウエルビーイング

心と体が満たされ、安心して暮らせること。

※3 プレコンセプションケアセンター

思春期以降の男女を対象に、妊娠、避妊、不妊、性の悩み、性感染症、子宮頸がん予防など、助産師や専門医がワンストップで無料相談する専門相談窓口の機能や、出前講座やSNS発信など、県域全体に向けた情報発信や人材育成を担っている。

福岡県の窓口は、

福岡県千代合同庁舎1階

# 学校給食廃食用油の有効活用を

町長「実現できるよう準備を進めている」



録画配信



もんま りょう  
門馬 良

**【学校教育課長】**

本町の小中学校から給食調理で発生する廃食用油は、給食調理業務を受託している業者が処理を行っている。年間発生量は、概算で約3,600kgである。

**【教育長】**

廃食用油が燃料へ生まれ変わることは、子どもたちにとって究極のリサイクルであり、環境教育の教材としても大きな価値があると考えるが、教育効果についてどのように評価されているのか。

**【町長】**

本町においても、廃食用油の回収に向け調査研究を行っており、町内事業者へ調査及びヒアリングを行い、実情を把握しよりよい仕組みづくりを検討中である。

**【問】**

廃食用油は、トラックなどの燃料となるBDF（バイオディーゼル燃料）や航空燃料の代替となる<sup>※1</sup>S A Fの原料として活用が進んでいる。精製会社への販売など、有効利用へ転換することは可能だと考えるが。

**【答】【教育長】**

持続可能な社会を学ぶ環境教育として大変有意義である。児童生徒だけでなく家庭や地域へも環境意識を広げる効果もあり、今後、カリキュラムの中でどのように位置づけていくか検討しながら推進したい。

**【問】**

本町では、「ゼロカーボンシティ ささぐり」を掲げ、太陽光やバイオマス発電など、再生可能エネルギーの導入を進めている。

**【答】【学校教育課長】**

実現するには、町民一人ひとりが実感し参加できる身近な取り組みが重要である。学校給食で発生する廃食用油は、現在どのように処理され、どれくらい発生しているのか。

**【問】**

資源循環や環境負荷軽減の観点から、有効な取り組みと認識している。給食費との関係など整理すべき課題もあるが、関係部署と連携し有効活用を検討している。

学校給食だけでなく、町民からも廃食用油を回収・販売し、町民参加型の<sup>※2</sup>カーボンニュートラルに貢献する仕組みづくりを進めるべきではないか。

一般家庭や事業所が油を貯めて出すという身近な行為で、脱炭素社会に貢献しているという実感と関心を町民の皆様にかけていただき、カーボンニュートラルの持続可能な事業として早期に実現できるよう準備を進めている。

※1 S A F

廃食用油や植物、ゴミなどを原料とする、環境負荷の少ない次世代航空燃料。

※2 カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量を均衝させるための概念。

# 町独自の人材バンクで 人材確保を

教育長「人材登録の仕組み  
づくりを検討したい」



さきやま さほ  
崎山 佐穂

録画配信



全国的に教員不足が指摘される中、子どもたちに安定した教育環境を提供することは最重要課題である。年度途中で病休や産休が生じた場合、代替教員の確保に時間がかかると聞いた。

その間、管理職や主幹教諭が授業に入るなど、教員同士のネットワークで人材を探す状況もあると聞く。

制度ではなく現場に頼っている点は検討すべきではないかと考える。

**問**.....年度途中の欠員について町の認識、また安定的に代替人材を確保する体制についてどのようなか。

**答【教育長】**  
本町の小中学校では、令和7年度当初の教員配置は定数であり確保されている。しかし、年度途中の欠員については、突発的であることや勤務条件の問題から、代替教員の確保は課題として認識している。

**問**.....年度途中に担任業務ができなくなり、かつ補充ができていないクラス数は。

**答【学校教育課長】**  
現状、長期欠勤者が12名、そのうち代替できていないのは7名。

**答【教育長】**  
予測できる場合は事前配置で対応し、突発的な病休については発生後に県へ代替教員の配置を依頼している。その間、管理職や\*加配教員などが授業に入り学校内で対応している。長期的に担任不在になることはない。

**問**.....代替教員の確保を、県へどのように働きかけているのか。

**答【教育長】**  
退職教員や、短時間であれば勤務可能な人材の活用や、町独自の人材バンクの仕組みを検討できないか。

**答【教育長】**  
町で個別に、また、福岡県下市町村教育委員会と合同で定数を満たす教員配置を継続して要望している。

**問**.....退職教員や、短時間であれば勤務可能な人材の活用や、町独自の人材バンクの仕組みを検討できないか。

**答【教育長】**  
退職教員や、教員免許を持ちながら勤務していない方への声かけは行っている。しかし、どこにどのような人材がいるのか把握しにくいという課題がある。教員経験者の情報収集や人材登録の仕組みづくりを検討し、働きやすい環境づくりも併せて進めていきたい。

**※ 加配教員**  
通常の配置人数に加えて、子ども一人ひとりに寄り添った指導や支援を行うために配置される教員のこと。

## 町村議会議員研修会

(令和8年1月9日)  
福岡国際会議場

「誰のための議会か」  
「議員が成長するために」

議会改革をどう進めるのか。会津若松市議会の改革の軌跡をもとに、方向性や具体策について、論点を巡って合意形成を図る議員間討議の重要性や日本生産性本部による議会評価の導入、また、議員研修会の在り方など、取り組み事例や諸施策を拝聴し有益な情報を得ることができた。さらに、住民福祉の向上に努めていきたい。



## 市町村議会議員研修

(令和8年1月13～14日)  
全国市町村国際文化研修所

「防災と議員の役割」

参加者：荒牧・今長谷

近年、災害が激甚化・頻発化する中、本町の防災体制をより充実させたいとの思いから本研修を受講した。

講義では、災害時の混乱は平時の備えや役割分担のあいまいさが起因すること、また一律の支援のみでは真に困窮している方に十分届かない場合があること等を学んだ。

議員としては、行政の初動を後方から支えつつ情報を共有し、住民の声を丁寧につなぐことが重要であると認識した。今後は日頃から顔の見える関係づくりを進め、災害に強いまちづくりの実現に努めていきたい。

## 市町村議会議員研修

(令和8年1月19日～20日)  
全国市町村国際文化研修所

「第3回市町村長等・  
議会議員特別セミナー」

参加者：横山・門馬・浦野

人口減少や少子高齢化、若年層の流出、地域経済の縮小等地方経済が抱える課題に対し、事例を交えて取り組みを学んだ。具体的には地方の歴史や文化を体感できる施設を整備して、地方への観光客や投資を呼び込んでいく。人を育てる循環として、地方経済の成長底上げを目指している。また別の事例では都市機能の集約、歩いて暮らせる持続可能なまちづくりの推進。さらに芸術や音楽・スポーツイベント等により、多くの来訪者を呼び込んでいる。

本町においても観光客の集客など課題解決に向けたアプローチとして参考にすべき点があり、稼げるまちづくりを考える必要があると感じた。

## 市町村議会議員研修

(令和8年2月2日～3日)  
全国市町村国際文化研修所

「人口減少社会における地域の課題」

参加者：古屋・村瀬・栗須

「地方創生とは何か」、「人口減少のメカニズムの解明」、「人口減少が引き起こす課題」や「地域発のイノベーション」を学び、人口減少がもたらす働き手不足、社会の担い手不足などの地域課題を、どのように解決しているのかを熊本大学、熊本県八代市、熊本県菊池市の事例発表を通して考えた。

事例発表では、発表者である自治体職員の方の人口減少に対する危機感や町を愛する熱量を感じた。

わが町の諸問題の解決にあたっては、この研修で得た知識を議会活動に活かし、より良い町となるよう努力したい。

# 主な議会活動報告 令和8年1月～3月

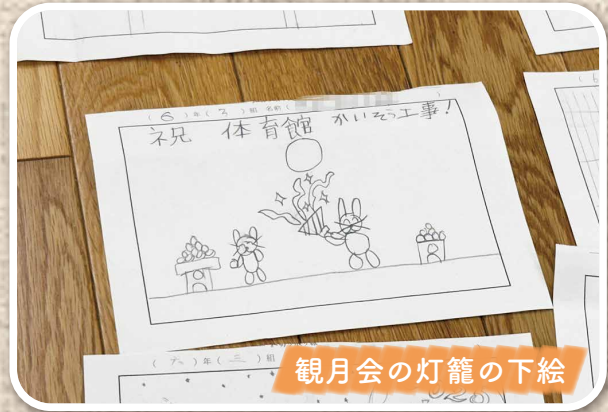
## 会 議 名(事件内容)

1月	
7日	広報広聴委員会／篠栗町シニアクラブ連合会新年会
9日	全員協議会
10日	篠栗町スポーツ協会新年会
11日	篠栗町消防団出初式／篠栗町はたちのつどい
15日～16日	福岡都市圏議長会視察研修(岡山県)
19日	福岡県介護保険広域連合粕屋支部運営委員会(糟屋郡自治会館)
22日	議会運営委員会／文教厚生常任委員会／糟屋地区議長協議会(久山町)
23日	臨時会／糟屋地区副議長会(篠栗町)
26日	例月現金出納検査(令和7年12月分)
27日	糟屋地区歴代議長会(オリエンタルホテル福岡)
2月	
2日	北筑昇華苑組合議会第1回定例会(古賀市)
9日	須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会事前協議会(クリーンパークわかすぎ)
10日	大阪府岬町議会視察来庁／令和7年度 第2回総会・町村監査委員研修会(福岡県自治会館)
13日	須恵町外二ヶ町清掃施設組合議会定例会(クリーンパークわかすぎ)
16日	意見交換会(元気もんラボ)(福岡工業大学)
18日	福岡県町村議長会定期総会(福岡県自治会館)／篠栗町旅館組合定期総会
19日	粕屋南部消防組合議会 議会運営委員会(粕屋南部消防本部)／篠栗町霊場会定時総会
20日	議会運営委員会
24日	粕屋南部消防組合議会定例会(粕屋南部消防本部)
25日	例月現金出納検査(令和8年1月分)
定例会	26日 開会／全員協議会
	26日 広報広聴委員会
	27日 糟屋郡自治会館組合議会定例会(糟屋郡自治会館)
3月	
	1日 篠栗町消防団非常呼集訓練
定例会	2日 付託議案審査(総務建設常任委員会・文教厚生常任委員会)
	3日～9日 予算審査
	10日 一般質問
	12日 採決
	12日 議会運営委員会／広報広聴委員会
	23日 広報広聴委員会
	24日 篠栗町社会福祉協議会評議員会(オアシス篠栗)
	25日 例月現金出納検査(令和8年2月分)
	30日 糟屋郡5町ブロック廃棄物対策協議会(クリーンパークわかすぎ)

# 輝くまちの宝



改修された勢門小学校の体育館



観月会の灯籠の下絵



北勢門小学校の卒業式

改修工事できれいになった勢門小、北勢門小の体育館で卒業式が行われました。卒業を迎えたのは、コロナ禍で入学式が縮小され、長期間の休校も経験した子どもたちでした。予定されている小中学校の改修も着実に進み、より良い学びの環境が広がることを願います。



吉本 文枝

とを心から願っています。

互いを理解し尊重する心が育ち、その歩みがやがて世界の平和へとつながることを心から願っています。

令和8年度、中学生の海外派遣事業が始まります。これからの日本、そして世界を担う「未来の宝」が異なる文化や価値観に触れ、多くを学ぶ貴重な機会となります。

その経験や気づきが仲間へと広がり、町の子どもたち一人ひとりの学びにつながることを期待します。

旬花衆灯



発行責任者 議長 古屋 宏治 議会広報広聴委員会 委員長 品川 静/副委員長 浦野 雅幸  
委員 栗須 信治・村瀬 敬太郎・太郎良 瞳・吉本 文枝

令和8年5月1日発行

発行/篠栗町議会 福岡県糟屋郡篠栗町中央一丁目1番1号 TEL092-947-1390 FAX092-947-7977

印刷/株式会社三光